



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月10日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西村 武
 (氏名) 金谷 武志
 TEL 076-276-1155

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	825	3.5	22	146.5	22	591.1	13	—
29年3月期第1四半期	798	△5.3	9	△60.2	3	△85.2	0	△93.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.93	—
29年3月期第1四半期	0.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	3,510	1,383	39.4	94.63
29年3月期	3,514	1,366	38.9	93.44

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,383百万円 29年3月期 1,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,680	4.0	48	7.9	41	△6.3	24	△2.5	1.69
通期	3,377	3.8	117	42.3	103	20.3	62	△60.6	4.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	14,672,333 株	29年3月期	14,672,333 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	53,250 株	29年3月期	53,111 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,619,118 株	29年3月期1Q	14,621,084 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したとみられるものの、米国政権の政策動向や中東・東アジア地域における地政学リスクの高まり等海外情勢の不安定さもあり、先行きは依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況下において当社は、顧客の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は825百万円（前年同四半期比3.5%増）となり、増収による影響で、営業利益22百万円（前年同四半期比146.5%増）、経常利益22百万円（前年同四半期比591.1%増）、四半期純利益13百万円（前年同四半期比1,415.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、搬送機械業界向けが好調に推移しましたが、運搬機械業界、工作機械業界向けが減少しました。一方、輸出においては、南米向けが増加しました。これらの結果、売上高は786百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は71百万円（前年同四半期比83.4%増）となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大に務めました。モデルチェンジによる自動車用部品の販売が大きく減少しました。その結果、売上高は39百万円（前年同四半期比40.3%減）、営業利益は4百万円（前年同四半期比66.3%減）となりました。

③その他事業

その他事業につきましては、賃貸ビルの改修工事により、売上高はなく（前年同四半期は10百万円）、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業利益7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は3,510百万円で前期末に比べて4百万円減少しました。これは、前期末と比べ、売掛金が41百万円、たな卸資産が17百万円増加し、現金及び預金が43百万円、受取手形が33百万円減少したことを主要因として、流動資産が2,320百万円と11百万円減少したこと、また、投資有価証券が4百万円増加したことを主要因として、固定資産が1,189百万円と6百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,126百万円で、前期末に比べて21百万円減少しました。これは、前期末と比べ、支払手形が21百万円、未払費用（流動負債その他）が59百万円、設備支払手形（流動負債その他）が14百万円増加し、未払法人税等が16百万円、賞与引当金が27百万円減少したことを主要因として、流動負債が1,474百万円と38百万円増加したこと、また退職給付引当金が8百万円増加し、社債が13百万円、長期借入金が53百万円減少したこと等により、固定負債が651百万円と60百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、1,383百万円で、前期末と比べ17百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上13百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は39.4%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期累計期間及び平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	425,466	381,865
受取手形	685,281	651,517
売掛金	430,102	471,378
商品及び製品	190,690	191,017
仕掛品	329,340	338,433
原材料及び貯蔵品	226,066	234,375
その他	45,074	52,233
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	2,331,770	2,320,571
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	170,321	167,572
機械及び装置(純額)	341,926	335,601
土地	246,442	246,442
建設仮勘定	29,392	32,904
その他(純額)	27,066	26,340
有形固定資産合計	815,149	808,860
無形固定資産	14,122	18,035
投資その他の資産		
投資有価証券	143,808	148,269
その他	210,827	215,295
貸倒引当金	△1,044	△899
投資その他の資産合計	353,591	362,665
固定資産合計	1,182,863	1,189,562
資産合計	3,514,634	3,510,134

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	442,519	464,157
買掛金	156,604	155,933
短期借入金	612,902	612,902
未払法人税等	37,331	21,264
賞与引当金	37,182	9,631
その他	149,378	210,809
流動負債合計	1,435,918	1,474,699
固定負債		
社債	30,400	17,100
長期借入金	348,592	294,950
退職給付引当金	294,302	302,748
役員退職慰労引当金	38,620	37,194
その他	752	—
固定負債合計	712,668	651,993
負債合計	2,148,586	2,126,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	114,646	128,235
自己株式	△5,631	△5,645
株主資本合計	1,344,194	1,357,770
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,852	25,670
評価・換算差額等合計	21,852	25,670
純資産合計	1,366,047	1,383,440
負債純資産合計	3,514,634	3,510,134

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	798,088	825,966
売上原価	664,557	673,253
売上総利益	133,531	152,713
販売費及び一般管理費	124,290	129,939
営業利益	9,240	22,773
営業外収益		
受取利息	13	20
受取配当金	2,760	2,960
為替差益	—	975
その他	713	674
営業外収益合計	3,487	4,630
営業外費用		
支払利息	3,786	3,302
為替差損	3,983	—
売上割引	1,313	1,201
その他	383	373
営業外費用合計	9,468	4,877
経常利益	3,259	22,526
特別利益		
固定資産売却益	—	119
特別利益合計	—	119
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	3,259	22,646
法人税、住民税及び事業税	2,362	19,211
法人税等調整額	—	△10,153
法人税等合計	2,362	9,058
四半期純利益	896	13,588

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	721,799	66,169	787,968	10,119	798,088	—	798,088
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	721,799	66,169	787,968	10,119	798,088	—	798,088
セグメント利益	39,216	12,221	51,437	7,646	59,083	△49,843	9,240

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに
 帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	786,485	39,480	825,966	—	825,966	—	825,966
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	786,485	39,480	825,966	—	825,966	—	825,966
セグメント利益又は損失 (△)	71,915	4,116	76,032	△2,026	74,006	△51,232	22,773

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグ
 メントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。